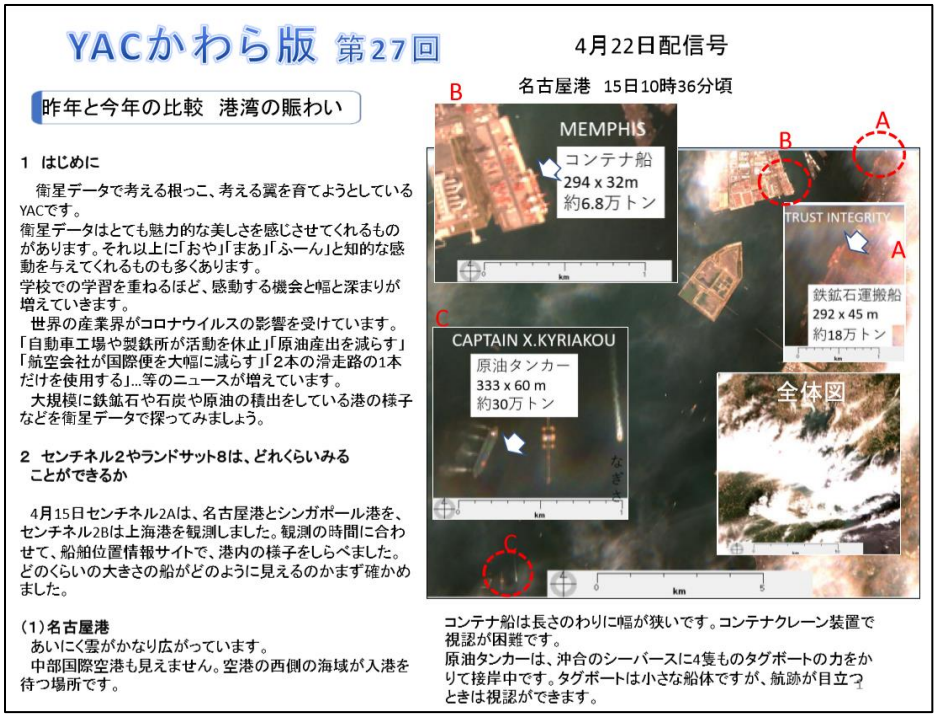
YACかわら版 第38回

5月8日配信号

原油積出港の様子

4月下旬に、行き場失うサウジ原油、満載タンカーが洋上を「漂流」という記事が紹介されていました。
そういえば最近ガソリンスタンドに寄ったとき「あれ、安くなっているのね」という会話を聞いたことがありました。
「YACかわら版27回」で、いくつかの港の様子をみました。
今回はアラブ首長国連邦のフィジャイラに加えてサウジアラビアのラスアヌスを調べてみましょう。
今回も約150メートル以上の長さの船を対象にします。
衛星データは、センチネル2とランドサット8です。
船舶の位置は、船舶位置情報サイトを利用しました。

＊船舶位置情報は海上航行が危険な地域では、リアルタイムでなく、数時間前の位置が表示されたり、位置情報を発信しない船もあります。



YACかわら版 第27回　4月22日配信号

昨年と今年の比較　港湾の賑わい

1　はじめに

衛星データで考える根っこ、考える翼を育てようとしているYACです。
衛星データはとても魅力的な美しさを感じさせてくれるものがあります。それ以上に「おや」「まあ」「ふーん」と知的な感動を与えてくれるものも多くあります。
学校での学習を重ねるほど、感動する機会と幅と深まりが増えていきます。
世界の産業界がコロナウイルスの影響を受けています。「自動車工場や製鉄所が活動を休止」「原油産出を減らす」「航空会社が国際便を大幅に減らす」「2本の滑走路の1本だけを使用する」…等のニュースが増えています。
大規模に鉄鉱石や石炭や原油の積出をしている港の様子などを衛星データで探ってみましょう。

2　センチネル2やランドサット8は、どれくらいみることができるか

4月15日センチネル2Aは、名古屋港とシンガポール港を、センチネル2Bは上海港を観測しました。観測の時間に合わせて、船舶位置情報サイトで、港内の様子をしらべました。どのくらいの大きさの船がどのように見えるのかまず確かめました。

(1)名古屋港
あいにく雲がかなり広がっています。
中部国際空港も見えません。空港の西側の海域が入港を待つ場所です。

名古屋港　15日10時36分頃

コンテナ船は長さのわりに幅が狭いです。コンテナクレーン装置で視認が困難です。
原油タンカーは、沖合のシーバースに4隻ものタグボートの力をかりて接岸中です。タグボートは小さな船体ですが、航跡が目立つときは視認ができます。

＊調べようとしている情報と衛星データと他の情報を結ぶことの大切さを説明

http://www.marinetraffic.com/ais/jp/

＊船舶の全長、全幅、喫水等の基本情報もわかります。
時間を追って船舶の位置を確認すると、船舶がその位置にどのくらいの時間停泊しているかも分かります。移動している船舶は速度も表示されます。
＊港については、港内に停泊している船舶についての情報なども分かります。

船舶をクリック

各種地図で表示

＊基本情報は、無登録無料

港の様子、船舶の位置なども調べることができます。
人工衛星の観測時刻は事前に分かりますから、2つのデータが照合できます。
さらに特定の場所では、ライブカメラ映像を探して照合することもできます。

調べる対象とした2つの港と2隻のタンカー

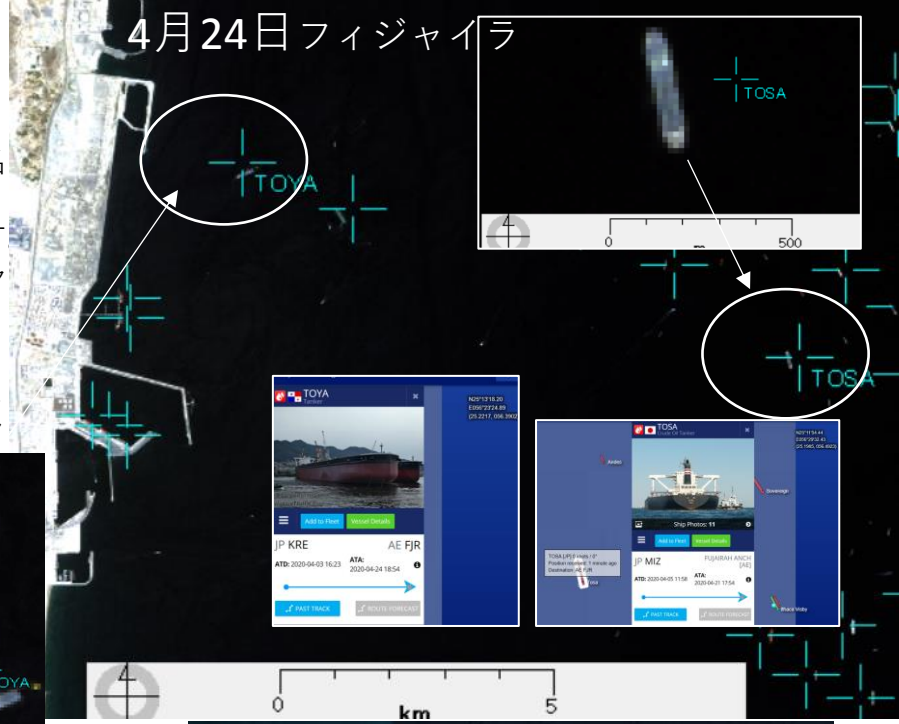
日本郵船の30万トンタンカー「TOSAと「TOSA]」を例に

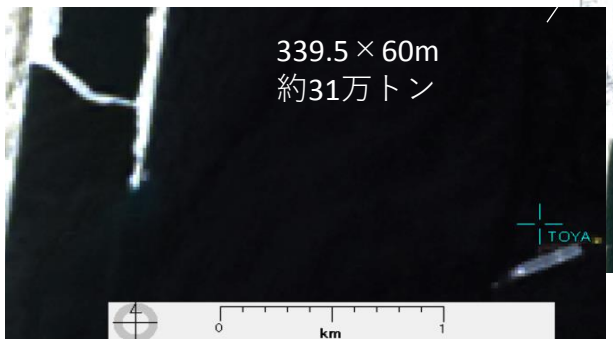
4月24日のセンチネル2観測予定時刻のフィジャイラ停泊中の船舶名を、船舶位置情報サイトで調べていたら、2隻の気になる船名がありました。広島県の呉の造船所で建造した30万トンタンカーの名前です

「TOYA」は4月3日に呉の造船所で完成し同日呉港を出港しフィジャイラに4月24日に到着していました。

「TOSA」は2008年3月31日に呉の造船所で完成し、主としてペルシャ湾と日本の間を往復しています。このタンカーの出航を見送っていました。今航海では、岡山県の水島港を4月5日に出港し、フィジャイラに4月21日に投錨しました。

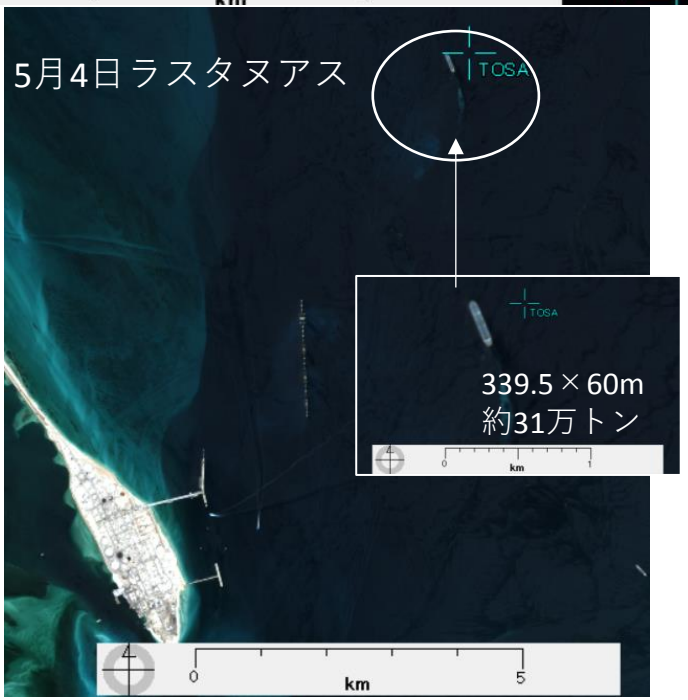
4月25日にセンチネル2の観測データをダウンロードしたらちゃんとに捉えられていました。分析ソフトEISEで調べた位置と船舶位置情報サイトで記録した位置がほぼ一致していました。

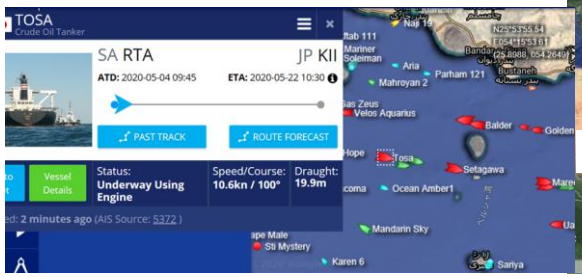


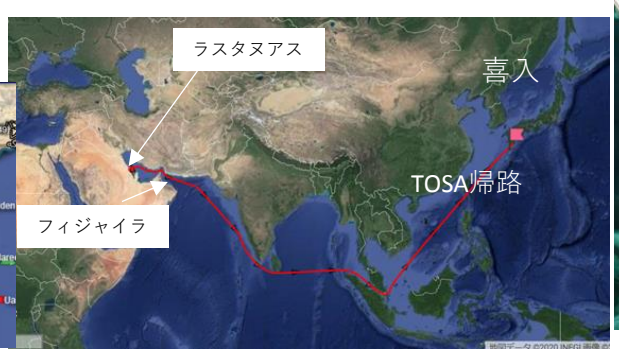


5月4日サウジアラビアのラスアヌス港付近のセンチネル2の観測がありました。残念ながら「TOSA」の所在地は船舶位置情報で確認していませんでした。他の調べごとをしているときに、偶然に「TOSA」が確認できました。航跡と予定航路も確認できました。ラスアヌスのシーバースを出港直後のタンカーが「TOSA]のようです。下のような航路を通って、5月22日に鹿児島県の喜入（きいれ）に到着する予定です。

その頃には、全国の皆様の学校がスタートの見通しが確定していることを祈念します。







ラスタアヌスの充実した施設

給油しているタンカーを調べる

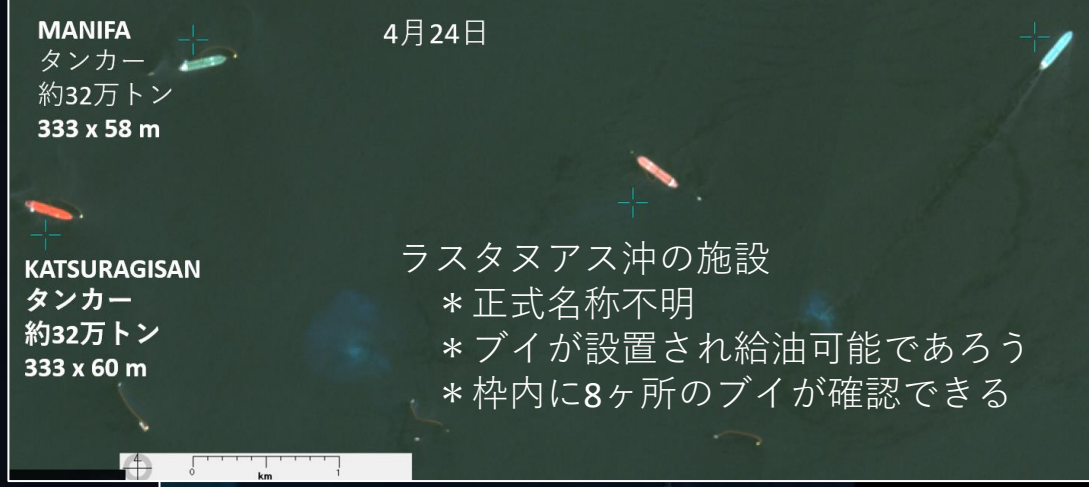
ラスタヌアス沖の施設

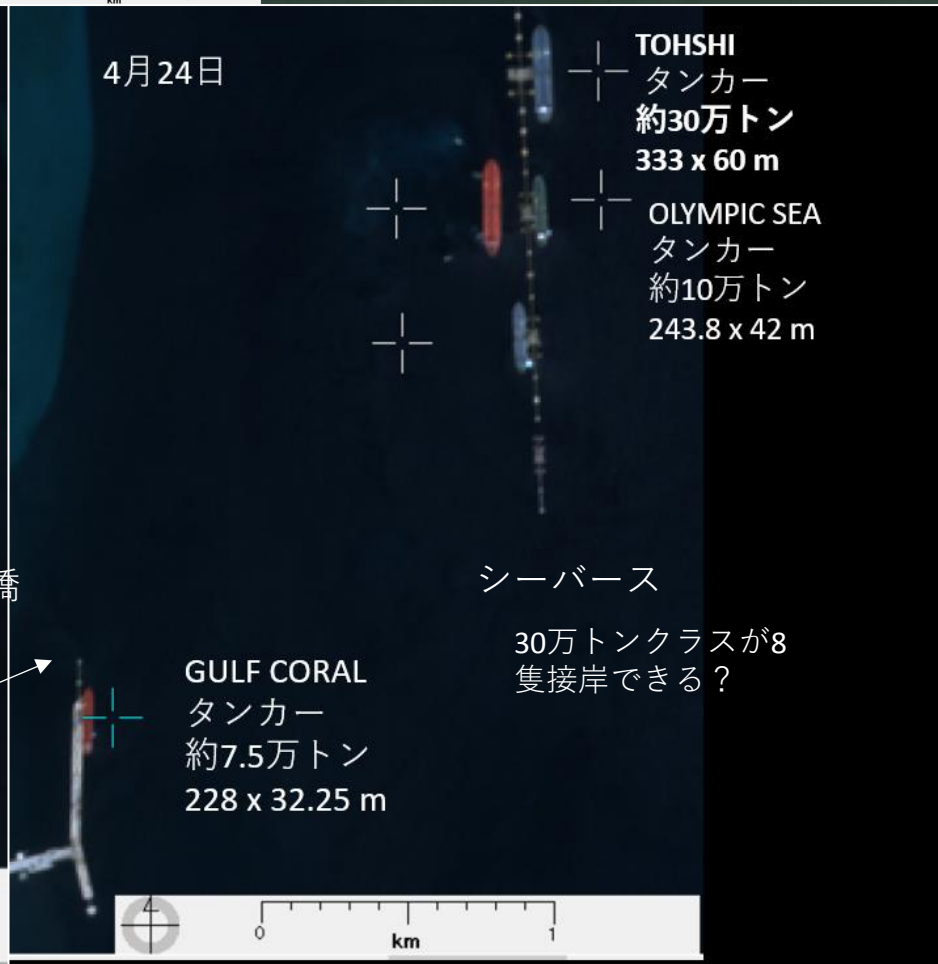
桟橋

沖に伸びた桟橋

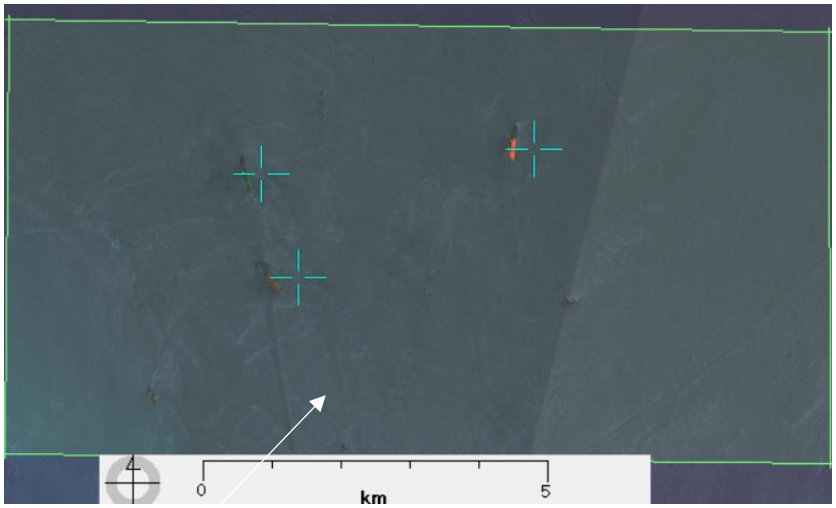
ラスタヌアス
シーアバースと桟橋

0 km 20

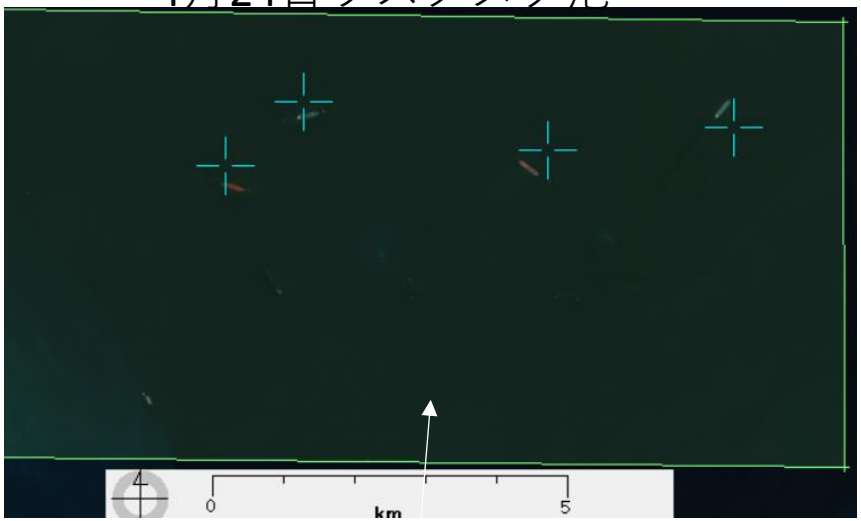


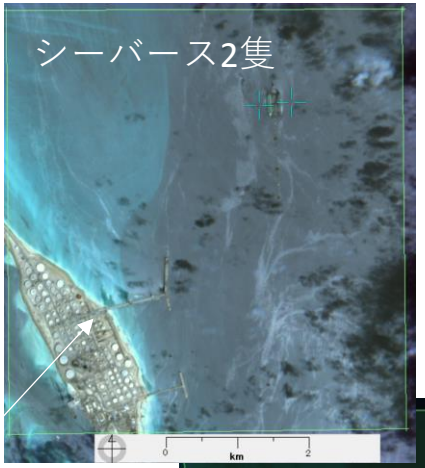


4月22日ラスタヌク港



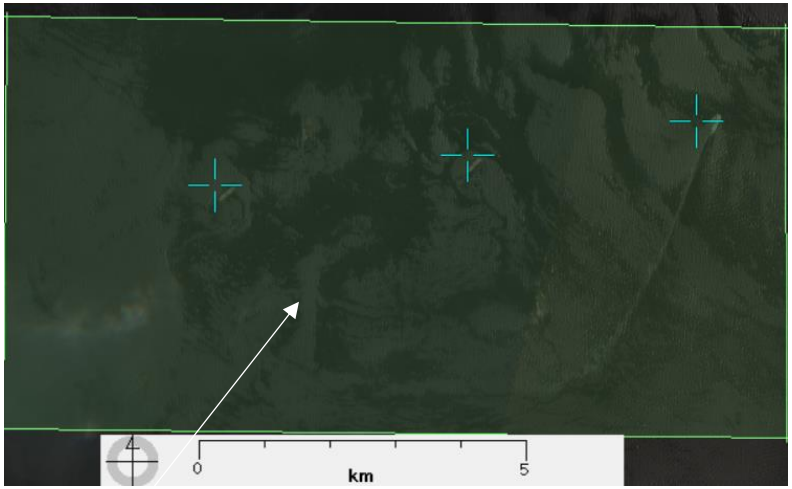
4月24日ラスタヌク港





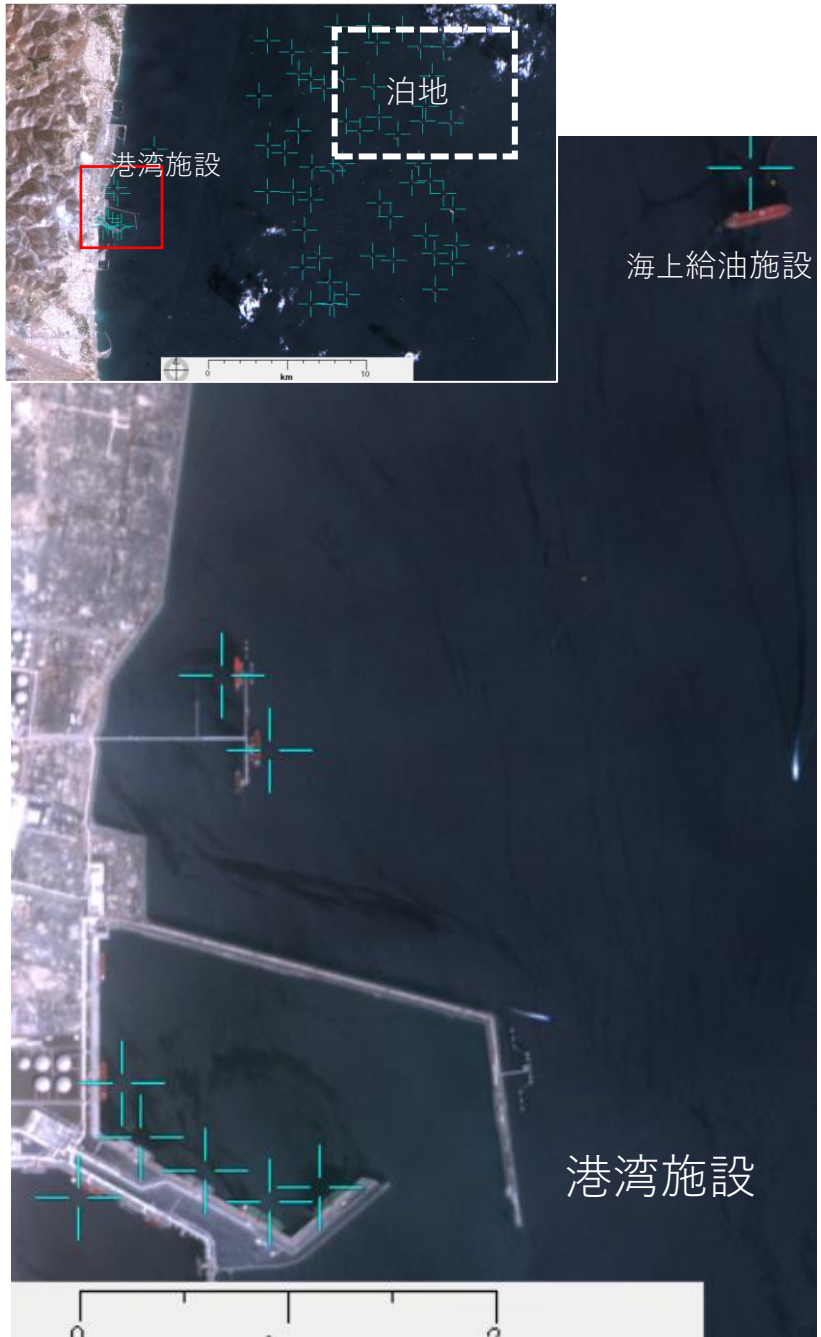
5月2日ラスタヌク港

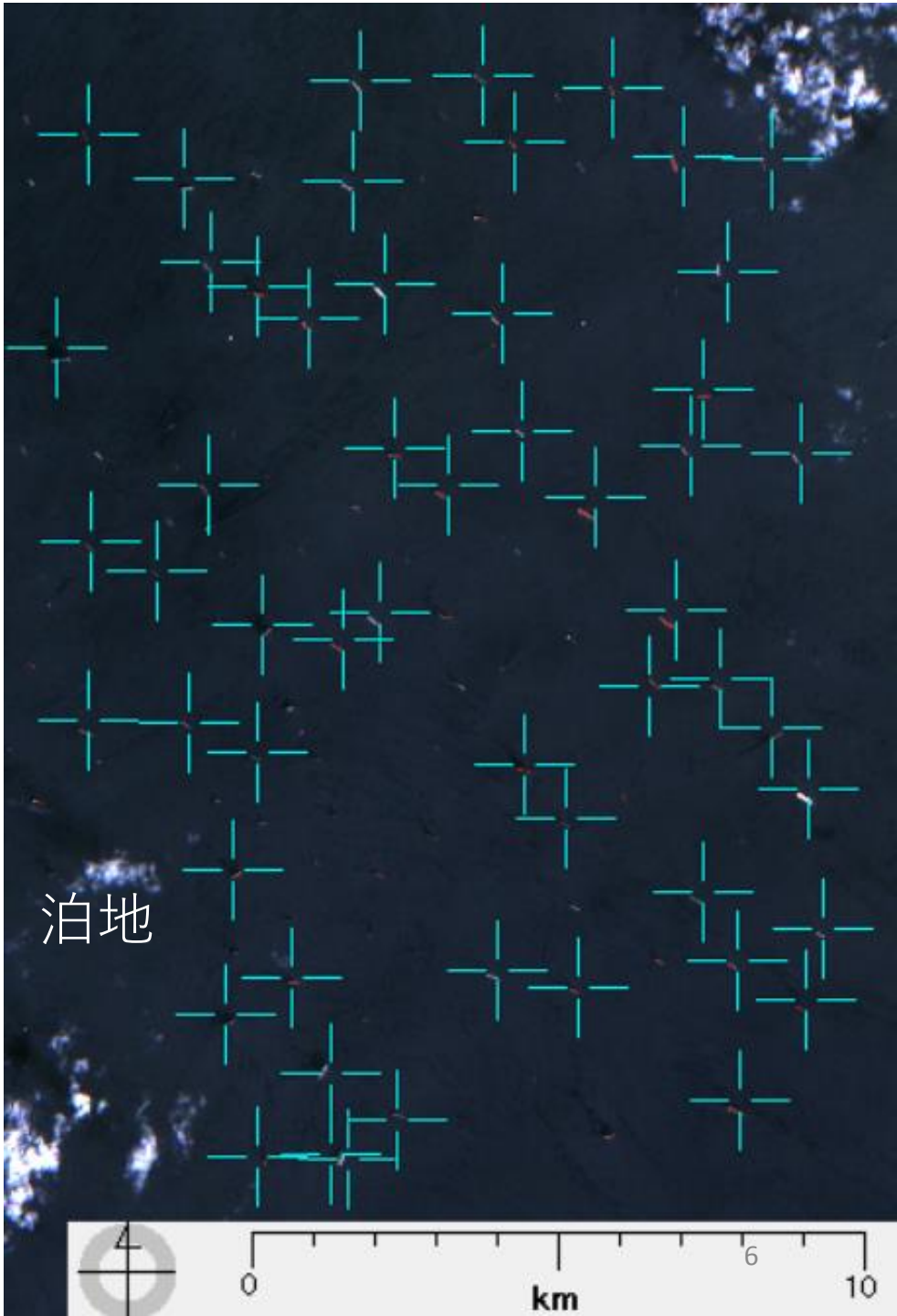
5月4日ラスタヌク港



2020年4月3日フジャイラ港

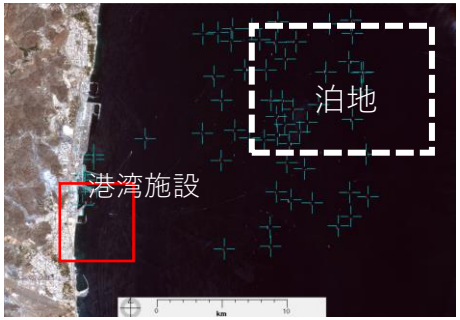
YACかわら版27再録

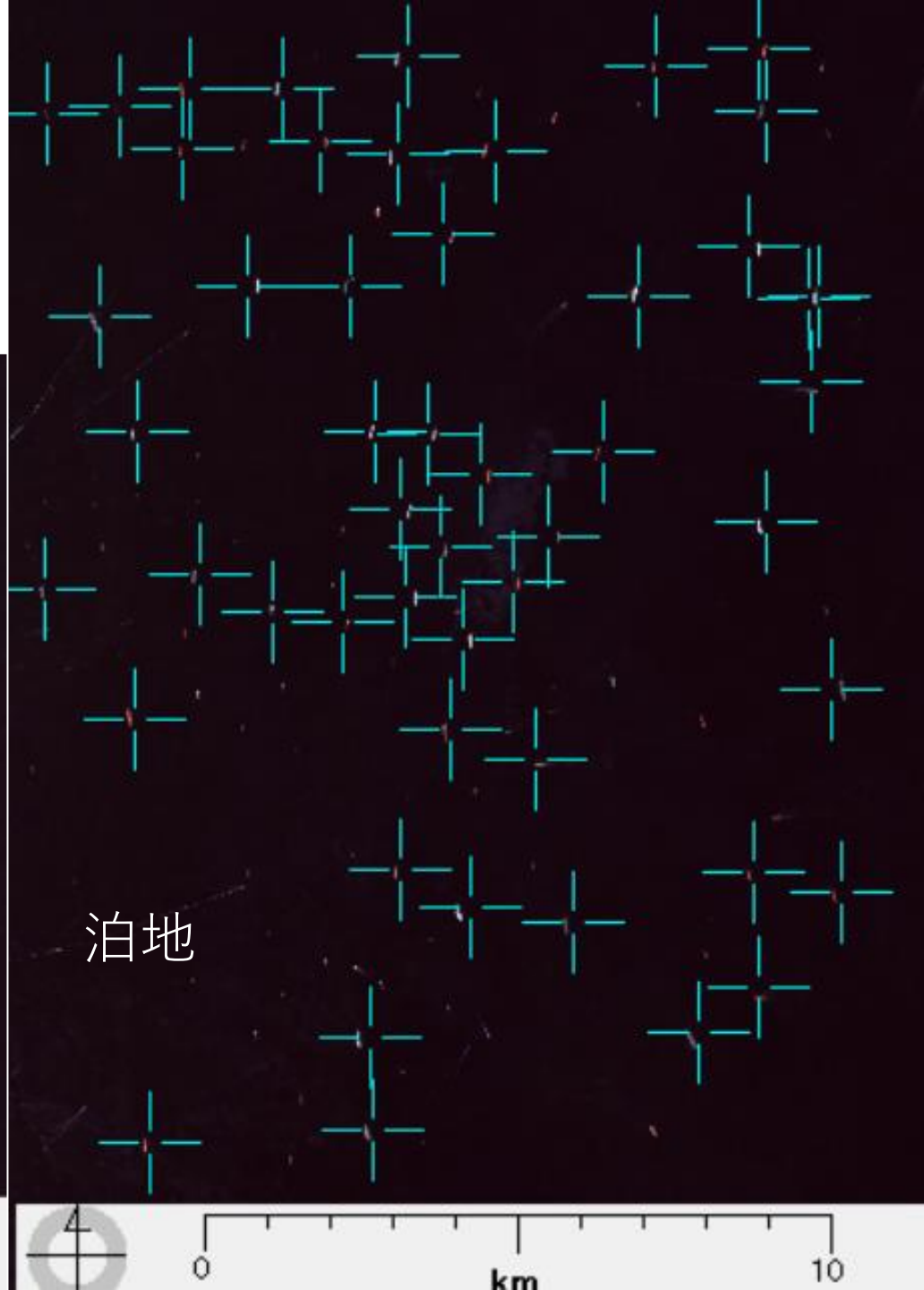




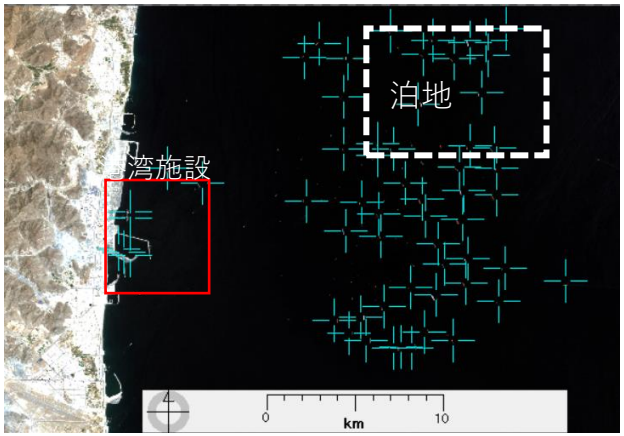
2020年4月8日フジャイラ港

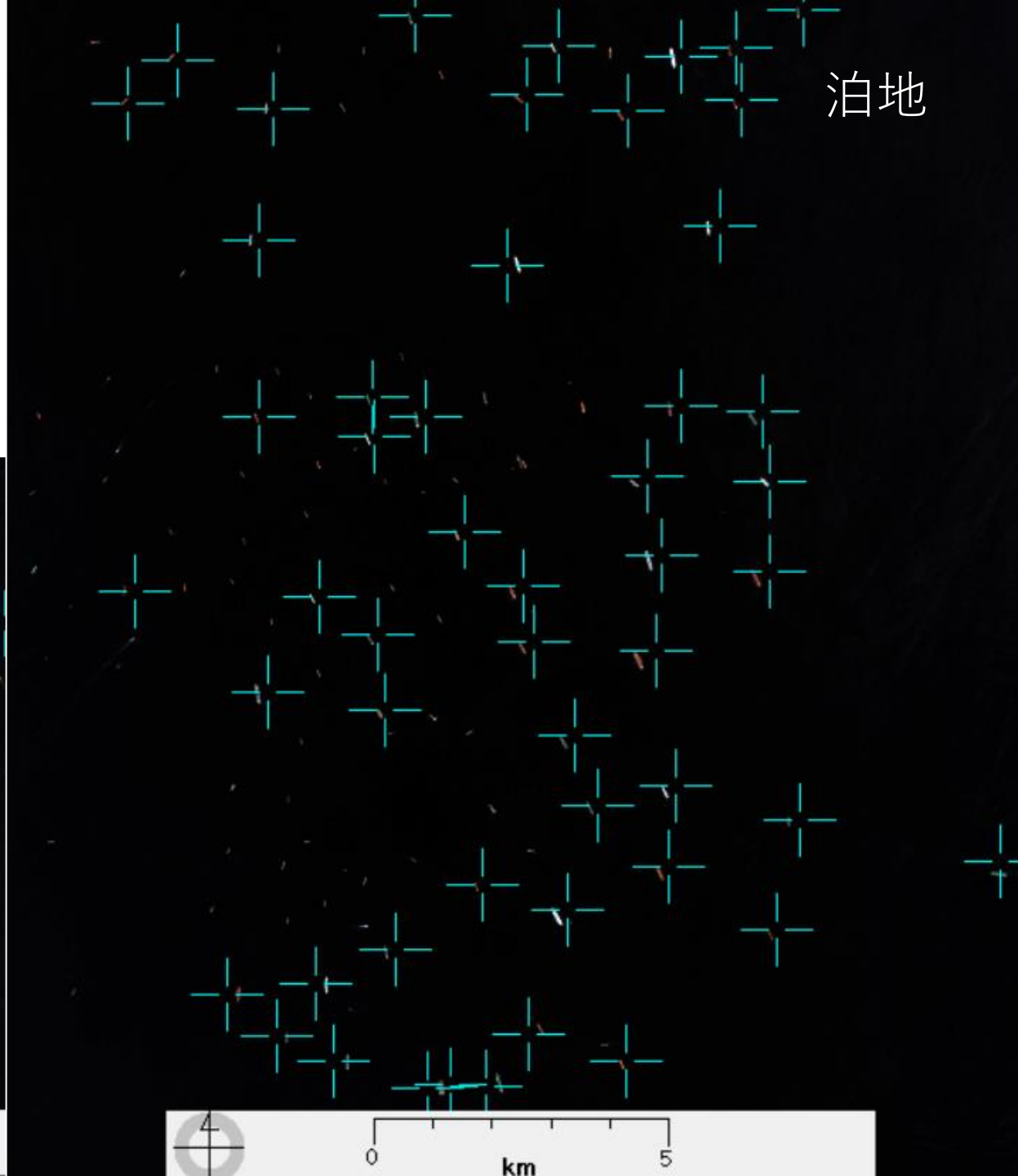
YACかわら版27再録



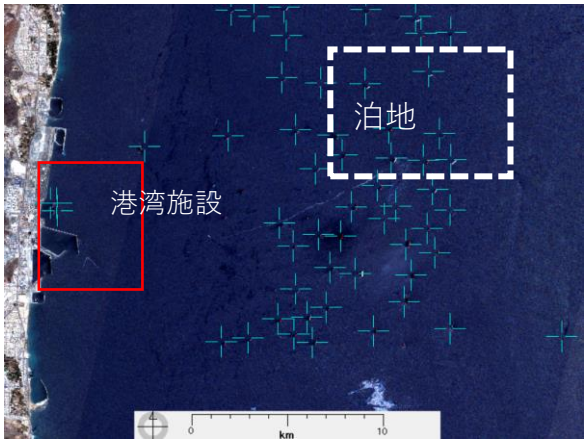


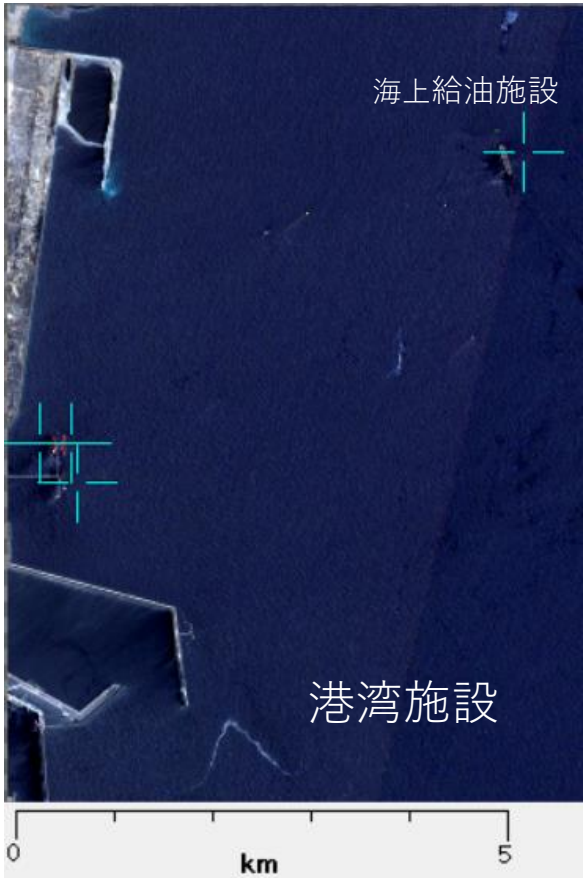
2020年4月25日フジャイラ港

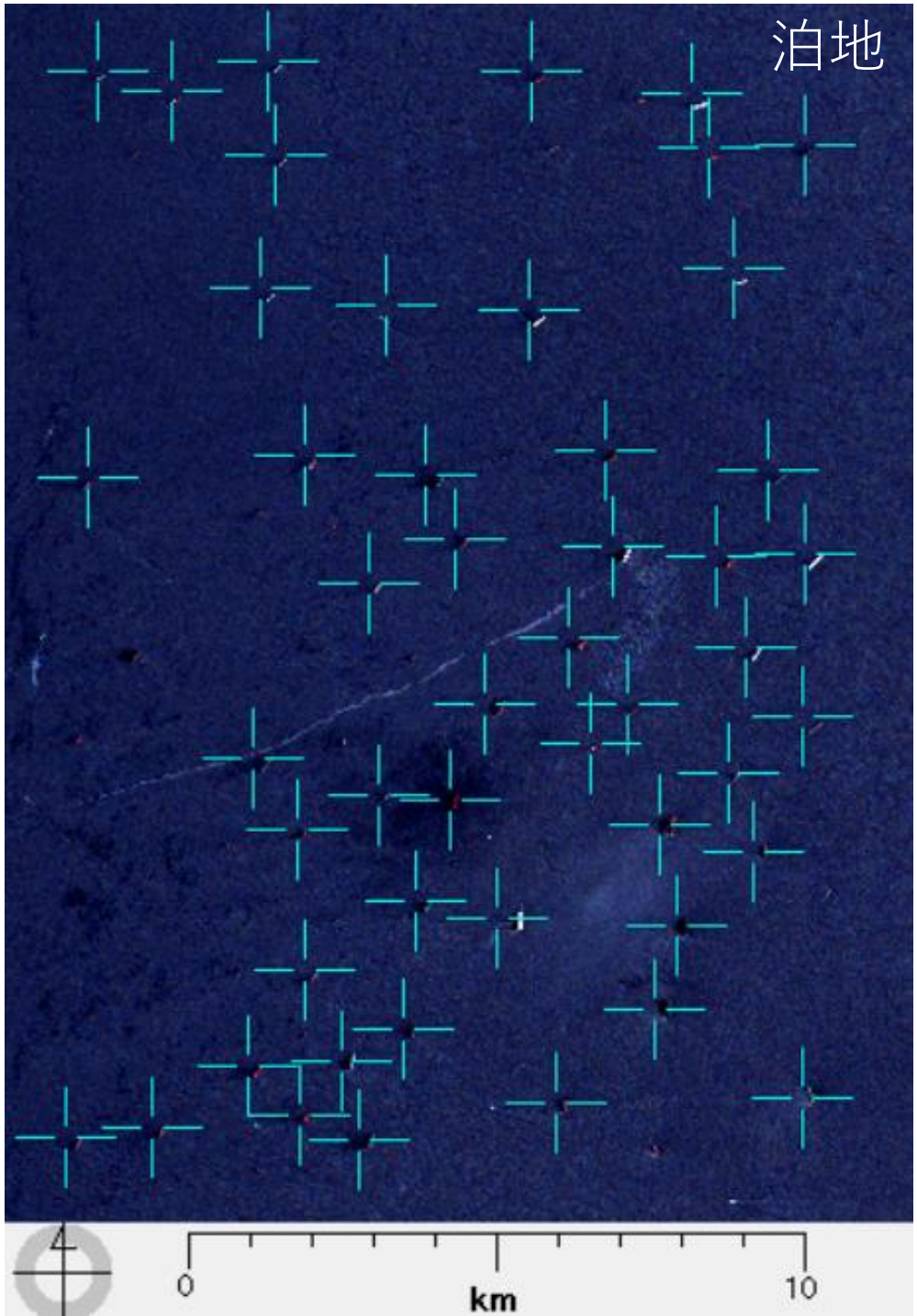




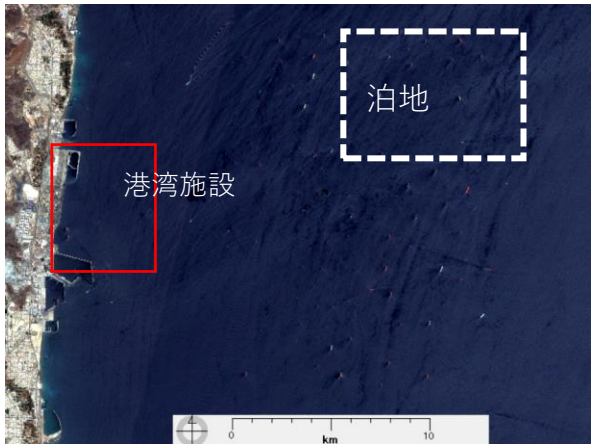
2020年4月28日フジャイラ港

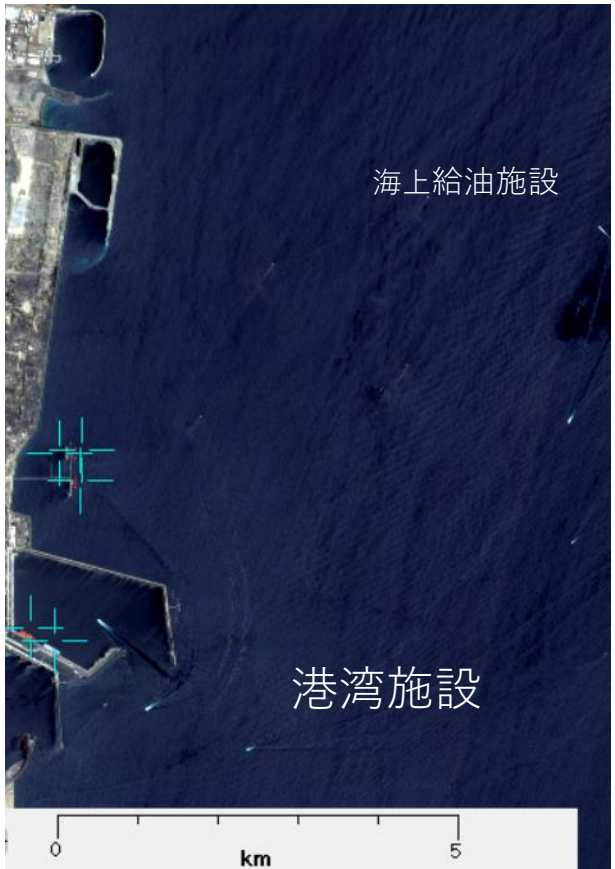


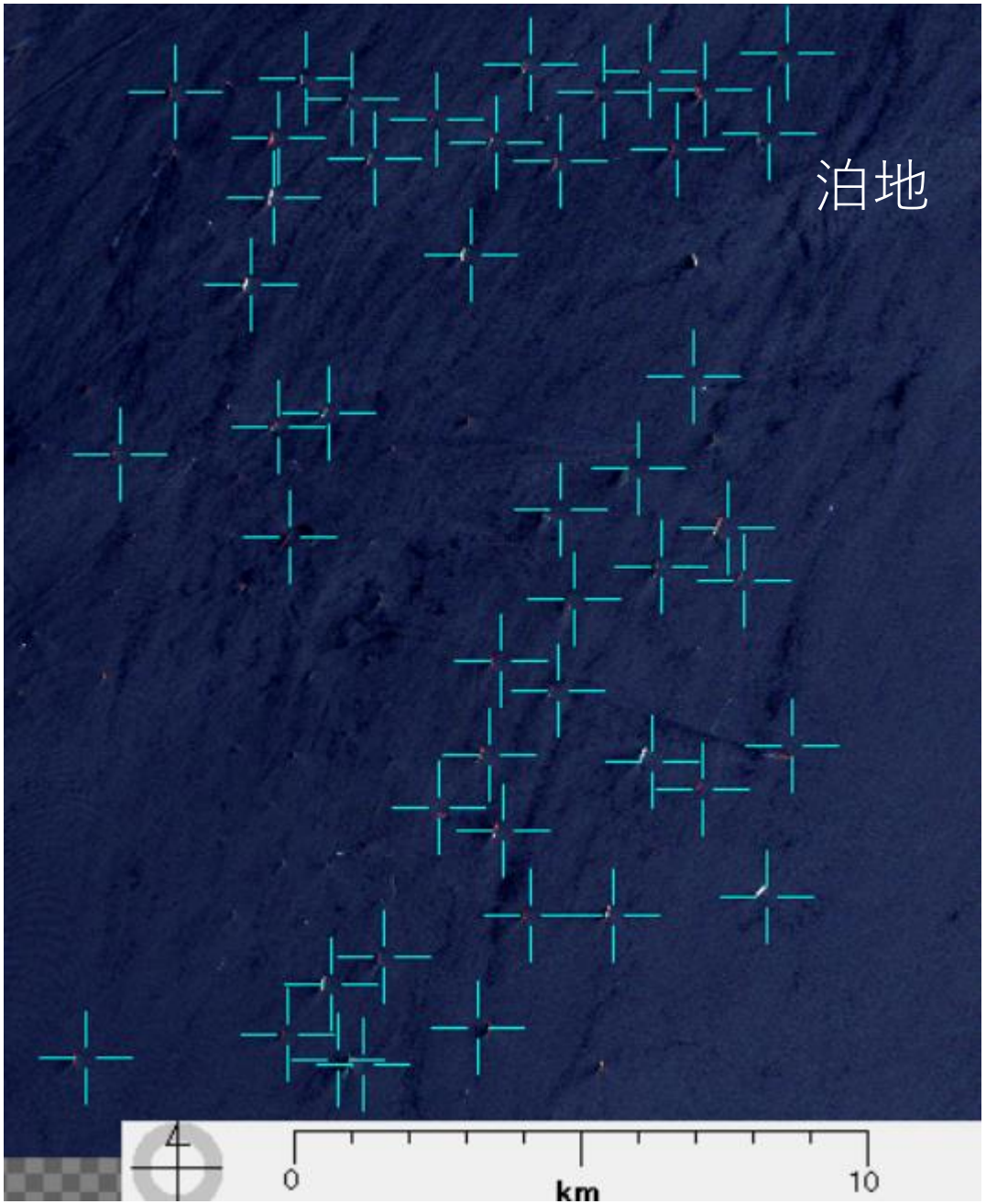




2020年5月3日フジャイラ港





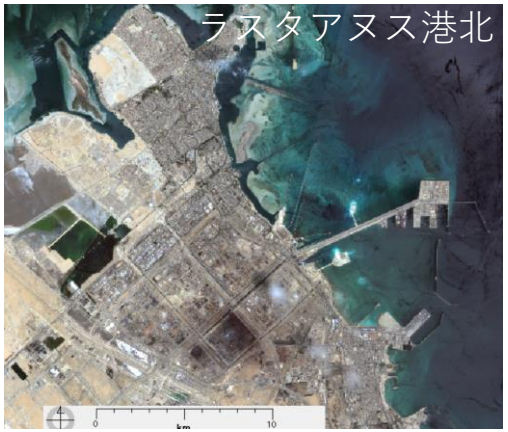


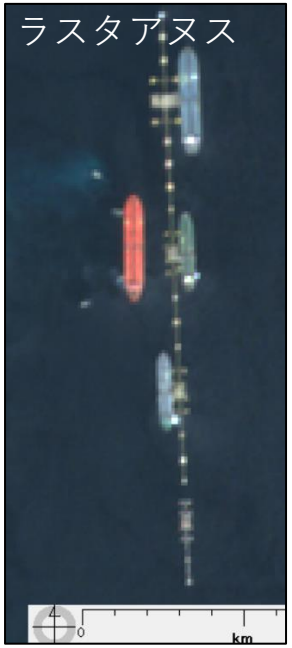
＜気づき＞　ラスタアヌス港関係

行き場失うサウジ原油、満載タンカーが洋上を「漂流」……という記事のことを衛星データで探ってみようとしました。
調べたのがラスタアヌス港関係だけでは不明でした。
センチネル2でも5日毎の観測でしかも天候に左右されます。
サウジアラビア沿岸だけでも多くの港湾施設があります。もっと広範囲に調べる必要がありますし、船舶位置情報をもっと活用する必要があります。

サウジアラビアもパイプラインでの輸出もしています

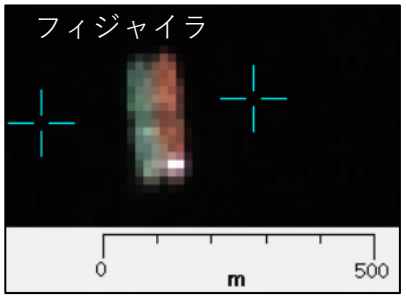
ラスタアヌス港関係では、港の近くに多くの施設が設けられ、タンクなどはその一部でした。
長大な桟橋がつくられたり、洋上にシーバースも設置され多くのタンカーが同時に積込作業ができるようですが、タンカーの姿は少なかったです。行き場を失う……関係の事象かもわかりません。考える翼が必要なようです。
30万トンのタンカーは原油積込にどれくらい時間がかかるのか、一ヶ所の港湾施設で一日あたりどれくらいの原油が送り出せるのか等の考える根っこも必要なようです。

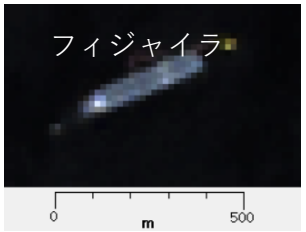


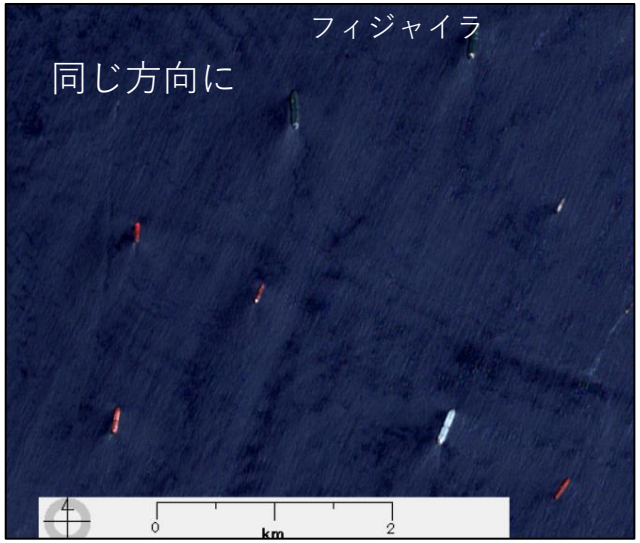


＜気づき＞　フィジャイラ港関係

この港の近くにパイプラインで原油などが送られてくるため大規模な石油関係工場は見慣れないようです。岸壁なども少なく、シーバースとは異なる洋上給油施設があるくらいです。
この港の泊地は、ホルムズ海峡を経てペルシャ湾にいくタンカー等の補給港の性格が強いのかもわかりません。
4月3日～5月3日の観測データでは、泊地の船舶数は変化が少ないようです。
泊地の船舶に、小型の船舶が横付けしている場合が多いようです。200㍍以上の2隻が接舷している様子も見られます。
泊地では、大半の船舶が同じ向きに向いています。







分析ソフト「EISEI]にチャレンジ

データ→2020年4月24日ラスタアヌストゥルーカラー

→2020年4月25日フィジャライ港一部トゥルーカラー

http://www.yac-j.com/hq/info/yackawaraban38data.html